

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

( 冬期・社会人特別選抜 ) 問題

筆記試験      日本史      専攻分野

試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。

2025年度

大学院文学研究科博士課程前期2年の課程入学試験

(冬期・社会人特別選抜) 問題

筆記試験 ( 日本史 専攻分野)

左の第一問・第二問に解答せよ(第一問は一枚目、第二問は六く七枚目にあるので注意すること)。

第一問

左の問一く問四のうちから二問を選択し、それぞれ全題について解答せよ(各問二題選択ではないので注意すること)。なお、全題についてそれぞれ解答用紙に五行以上記入すること。

【注意事項】

解答用紙には、選択した問題番号を記入する欄が用意してあるので、そこに番号を明記すること。なお、解答用紙は、それぞれ二枚用意している。

問一 次の事項について説明せよ。

- (1) 『日本書紀』 (2) 日本と新羅 (3) 藤原道長

問二 次の事項について説明せよ。

- (1) 文治五年奥州合戦 (2) 倭寇 (3) 古文書と古記録

問三 次の事項について説明せよ。

- (1) 外様大名 (2) 関東取締出役 (3) 相馬大作事件

問四 次の事項について説明せよ。

- (1) 山県有朋 (2) ワシントン会議 (3) 国際連合と日本

|   |  |
|---|--|
| 成 |  |
| 績 |  |

解答用紙  
1

第一問

問（ ） \*（ ）に番号を記入すること

[illegible]



解答用紙 3

## 第一問

問（ ） ＊（ ）に番号を記入すること

[illegible]

解答用紙4

第二問

配付した史料について、次のことをせよ。

- (1) 史料1の全文を楷書体で筆記せよ。用字は新字体を用い、字配りは原文にならうこと。

史料1

(著作権上の理由により、画像は公開しない)

(2) 史料2について、本文(年月日以下を除いた部分)を読み下し文にせよ。また、本文を解釈せよ。

史料2

諸国守護人地頭、或正員或代官、依領家預所之訴訟、自六波羅、為遂対決、遣召文、為停止非法、加下知之处、不承引之族在之云々、二ヶ度者可相触、及三ヶ度者、可注申関東之由、先日被仰下畢、而存優如之儀、不被申之由、有其聞、事实者、狼藉争可相鎮哉、於自今以後者、無容隠、可令言上給之状、依鎌倉殿仰、執達如件、

寛喜三年五月十三日

武蔵守判

相模守判

駿河守殿

掃部助殿

(竹内理三編『鎌倉遺文』)

【注意事項】

第二問の解答は、解答用紙5・6に記入すること。



解答用紙5

## 第二問

[illegible]

